

平成25年度みやぎ食の安全安心消費者モニター 新規登録者アンケート結果報告

■アンケート実施内容

- ・対象者は、平成25年度に「みやぎ食の安全安心消費者モニター」に新規登録した69人である。
- ・回答者数は、63人である。
- ・回収率は、91.3%である。
- ・調査は、平成25年4月から平成26年3月までに郵送により実施した。

■アンケート対象者属性

- ・60代が29人（46%）と最も多い。また、男性が14人（22.2%）女性が49人（77.8%）である。
- ・年代別内訳（単位：人）

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
2	8	4	12	29	5	3	63

- ・男女別内訳（単位：人）

男性	女性	計
14	49	63

（単位：人）

■アンケート結果の表示について

- ・平成15年度のデータと比較した。
また、必要に応じて平成20年度～23・24年度のデータを示した。
- ・年齢階層別に集計した結果、50歳未満と50歳以上の回答者で傾向が異なる設問については、2階層の集計結果を示した。

<結果要約>

1. 食品購入時の行動について

食品を購入する際に「安全性」を最も重視しており、その割合は増加傾向にある。また、「品質」、「新鮮さ」、「国内産」についても重視する割合が高い。

2. 表示の確認度と重視する点について

食品購入の際に、回答者の95%以上が「消費期限、賞味期限の日付」と「原産国・原産地や製造者の情報」を確認している。また、回答者の88.8%が「原材料」を確認している。

食品の表示については、「加工品に使われている野菜、肉などの原産地表示がない」、「商品によって表示の方法や位置、使っている言葉がまちまちである」、「文字が小さすぎて見にくい」といった不満を感じている。

3. 食品の安全性について

食品の安全性に対して、不安を感じている人の割合は平成15年度より高い。

特に、「食品添加物」、「輸入食品の安全性」、「農産物への無登録農薬の使用や農薬の残留」については半数以上が不安を感じている。

1. 食品購入時の行動

(1) 食品を買うときに重要だと思うこと

問 あなたが食品を購入する際に、特に重要だと思っていることは何ですか？
 最も重要だと思うことに◎、次に重要だと思うものに○をつけてください（◎，○は各1つずつ）。

食品を買うときに最も重要だと思う項目は、「安全性」であるとの回答が65.1%を占め一番多く、率では平成23・24年度よりもやや高い。次いで「新鮮さ」（12.7%）が多く、例年と同じ傾向である。次に重要だと思う項目として多いのは、「新鮮さ」（36.5%）であり、次いで「味や品質」、「産地・メーカー」、「時期（旬のもの）」、「価格」である。（図1）

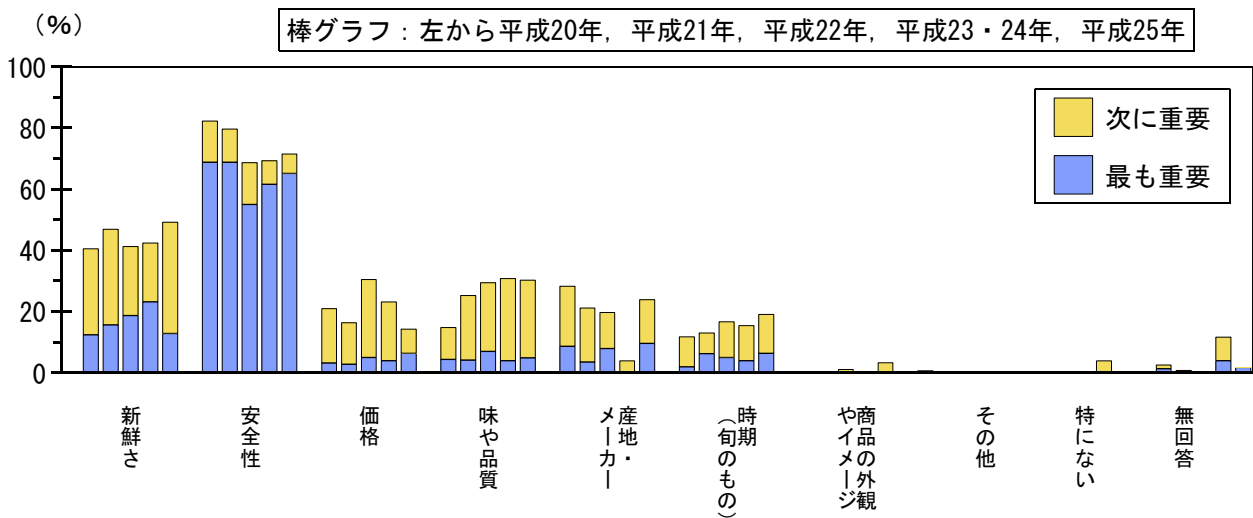


図1 食品を購入する際に重要とする項目

年齢別では、最も重要だと思う項目で、50歳未満と比較して50歳以上で「安全性」の回答率が高く、「味や品質」及び「産地・メーカー」の回答率が低い。（図2）

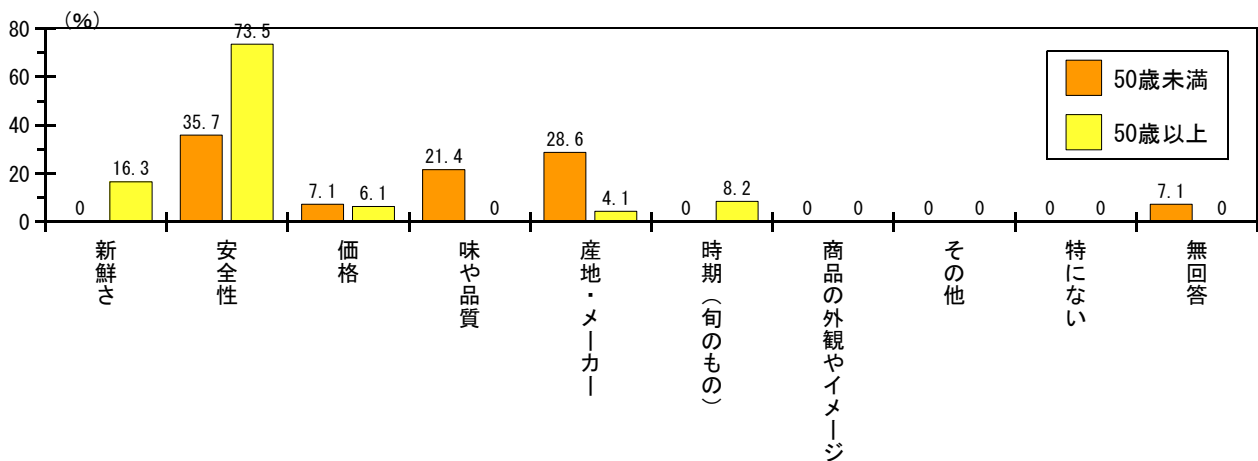


図2 食品を購入する際に最も重要とする項目（平成25年度）

(2) 買い物をするときの考え方や行動

問 買い物について、あなたの考え方や行動に特によくあてはまるものをお選びください（○は3つまで）。

買い物をする際に「安全性に配慮した食品かどうかを重視する」の割合が77.8%で最も高く、次いで「価格が品質や新鮮さに見合っているかをよく検討する」（69.8%）、「多少値段が高くても外国産よりも国内産の食品を買う」（60.3%）であり、いずれも高い割合である（図3）。

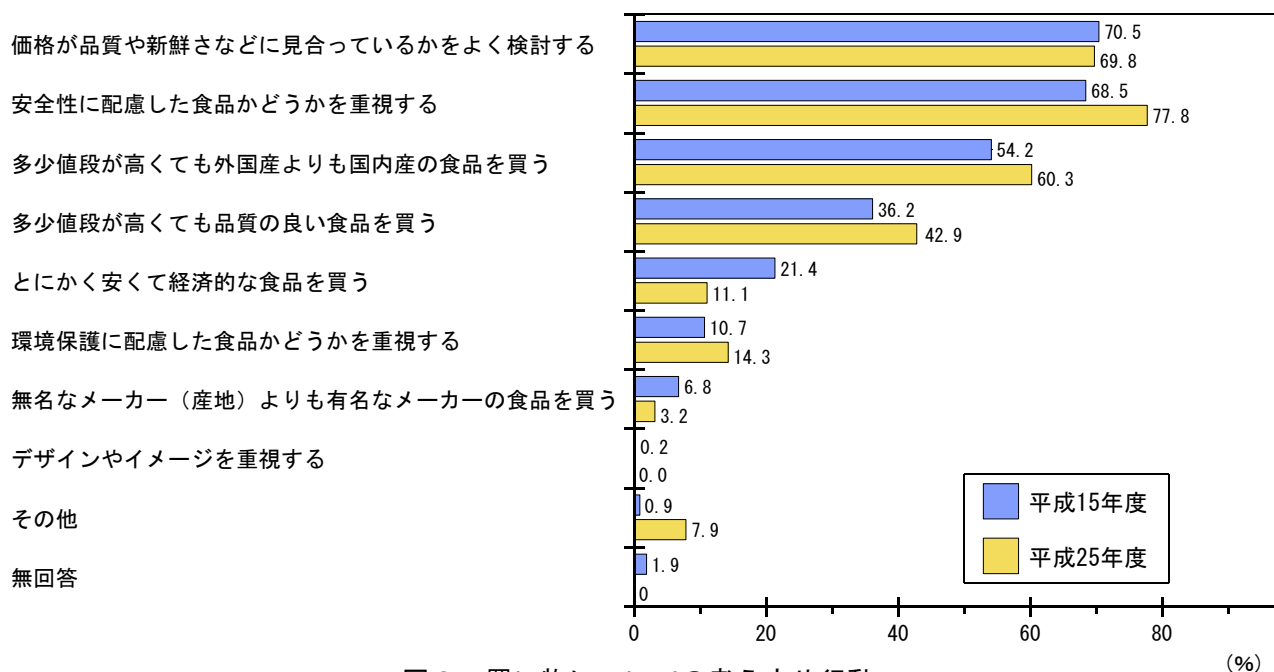


図3 買い物についての考え方や行動

年齢別では、50歳未満と比較して50歳以上で「安全性に配慮した食品かどうかを重視する」の回答率が高い。（図4）

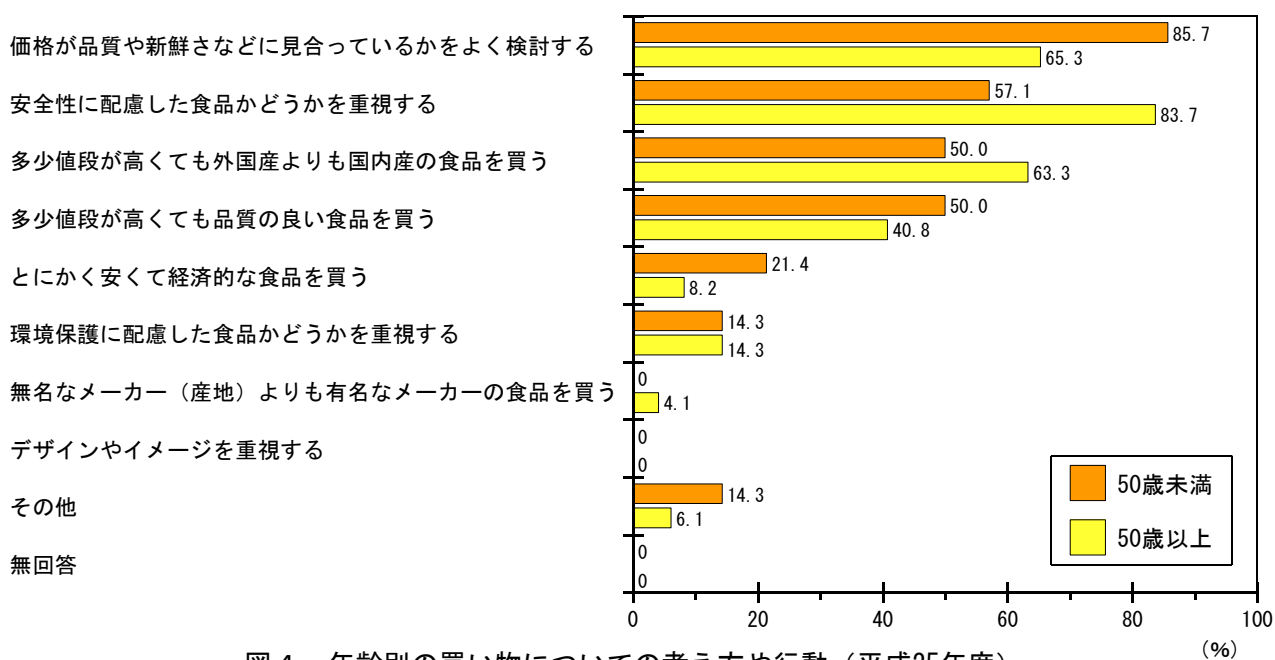


図4 年齢別の買い物についての考え方や行動（平成25年度）

2. 表示の確認度と重視する点

(1) 食品表示の確認頻度

問 食品の購入時に、以下の表示についてどのような確認をしていますか？

イ 消費期限，賞味期限の日付

消費期限，賞味期限の日付については，84.1%が「たいてい確認している」と回答しており，平成15年度とほぼ同じ割合である。「どちらかという確認している」をあわせると，96.8%の回答者が消費期限，賞味期限を確認している。(図5)

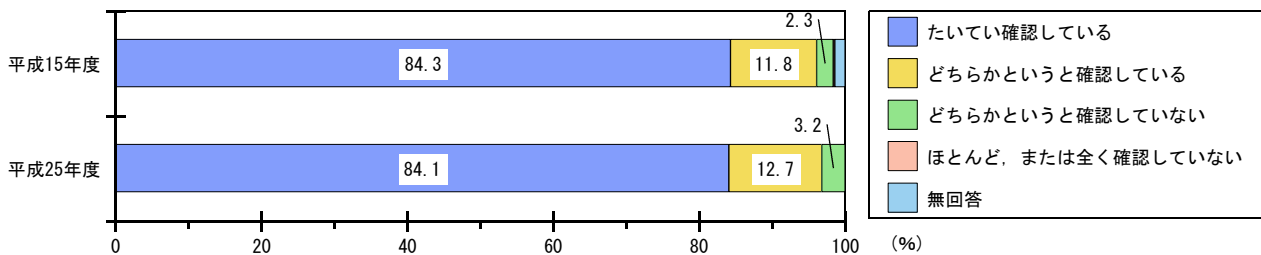


図5 消費期限，賞味期限の日付

年齢別では，有意な差は認められなかった。

ロ 原産国・原産地や製造者の情報

原産国・原産地や製造者の情報については，77.8%が「たいてい確認している」と回答し，平成15年度と比較して15.5ポイント高い。「どちらかという確認している」を合わせると，95.3%の回答者が原産国・原産地や製造者の情報を確認しており，平成15年度より高い。(図6)

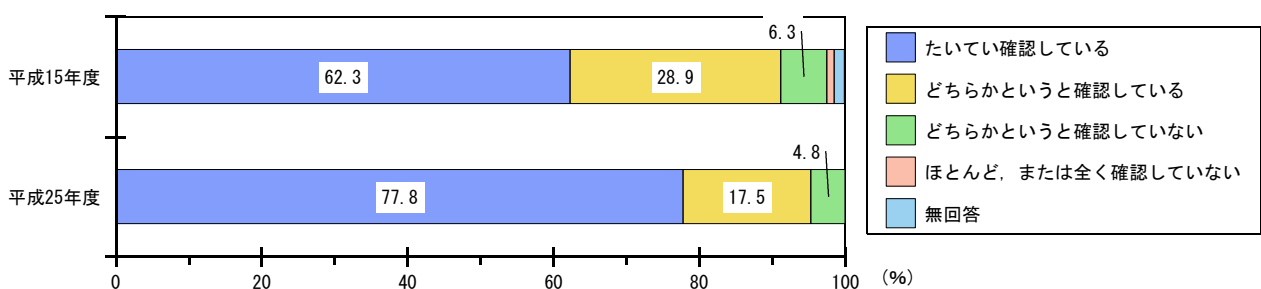


図6 原産国・原産地や製造者の情報

年齢別では，有意な差は認められなかった。

ハ 原材料（食品添加物の使用やアレルギー物質、遺伝子組み換え食品等の有無など）

原材料（食品添加物の使用やアレルギー物質、遺伝子組み換え食品等の有無など）については、57.1%が「たいてい確認している」と回答している。「どちらかという確認している」を合わせると、88.8%が確認しており、平成15年度より9ポイント高い。（図7）

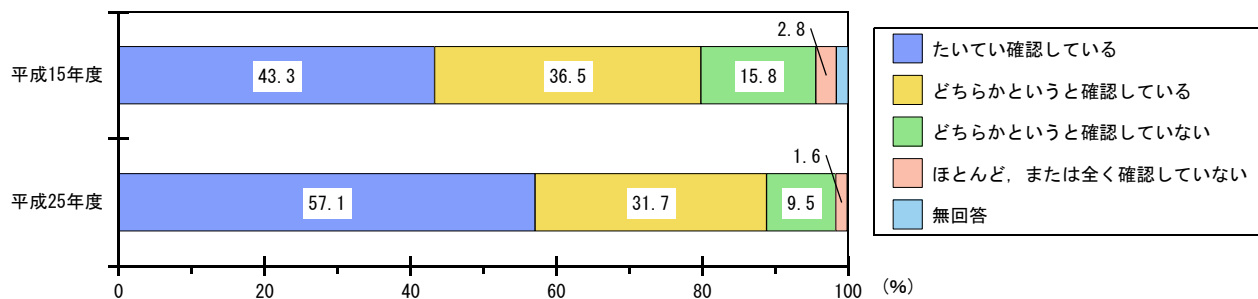


図7 原材料

年齢別では、有意な差は認められなかった。

(2) 食品表示への不満

問 日ごろ、食品表示について不満を感じることはありますか？（○は5つまで）

食品の表示についての不満は、「加工品に使われている野菜、肉などの原産地表示がない」が最も多く、次いで「商品によって表示の方法や位置、使っている言葉がまちまちである」、「文字が小さすぎて見にくい」、となっている。（図8）

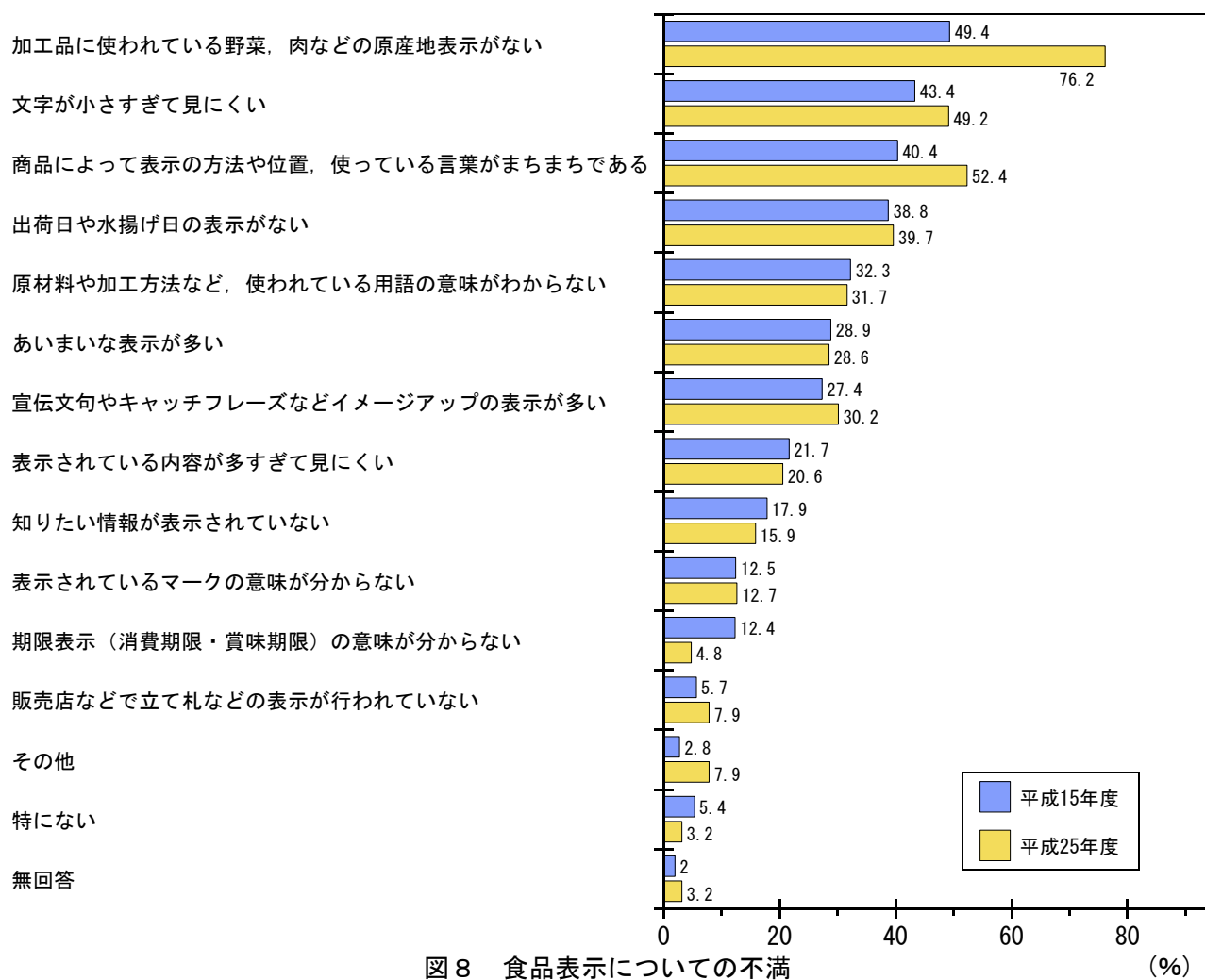


図8 食品表示についての不満 (%)

年齢別では、50歳未満に比べ、50歳以上の「文字が小さすぎて見にくい」ことに不満を感じる人の割合が高い。(図9)

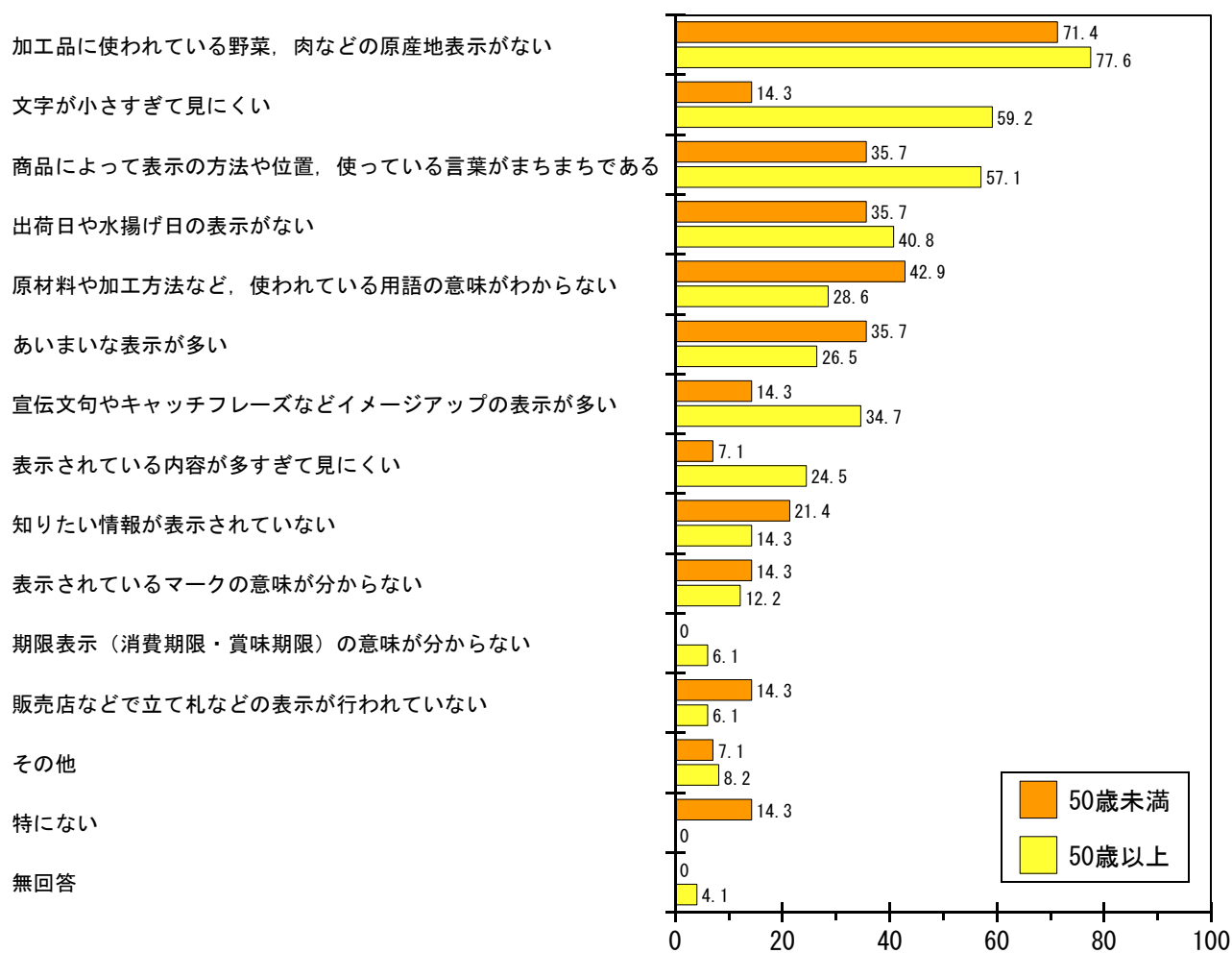


図9 年齢別の食品表示についての不満（平成25年度）

3. 食品の安全性について

(1) 食品の安全性に対する不安感

問 あなたは、食品の安全性について、不安を感じていますか？（○は1つだけ）

食品の安全性に対して「大いに不安を感じている」と回答した人の割合は平成15年度に比べて5.4ポイント高い。「大いに不安を感じている」、「不安を感じている」、「少し不安を感じている」を合わせた割合は、平成15年度と比べると4.6ポイント高く、食品の安全性に不安を感じる人の割合が高くなっている。（図10）

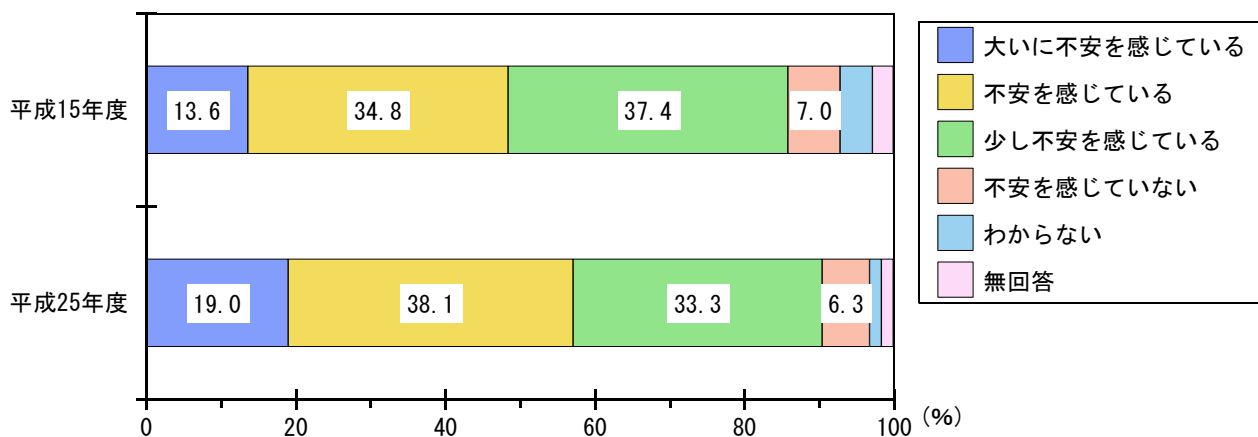


図10 食品の安全性に対する意識

年齢別では、有意な差は認められなかった。

(2)特に不安を感じる項目

問 特に不安を感じていることは何ですか？（○は5つまで）

※ 前問で不安を感じていると答えた方のみ記入

項目別で比較すると、「食品添加物」、「輸入食品の安全性」、「農作物への無登録農薬の使用や農薬の残留」について、半数以上が不安を感じている。また、「輸入食品の安全性」、「食品の異常（異物混入、臭味異臭など）」は平成15年度より割合が高い。一方、「遺伝子組換え食品」、「BSEなどの家畜の疾病」、「ダイオキシン、環境ホルモン」の割合は平成15年度より低い。（図10）

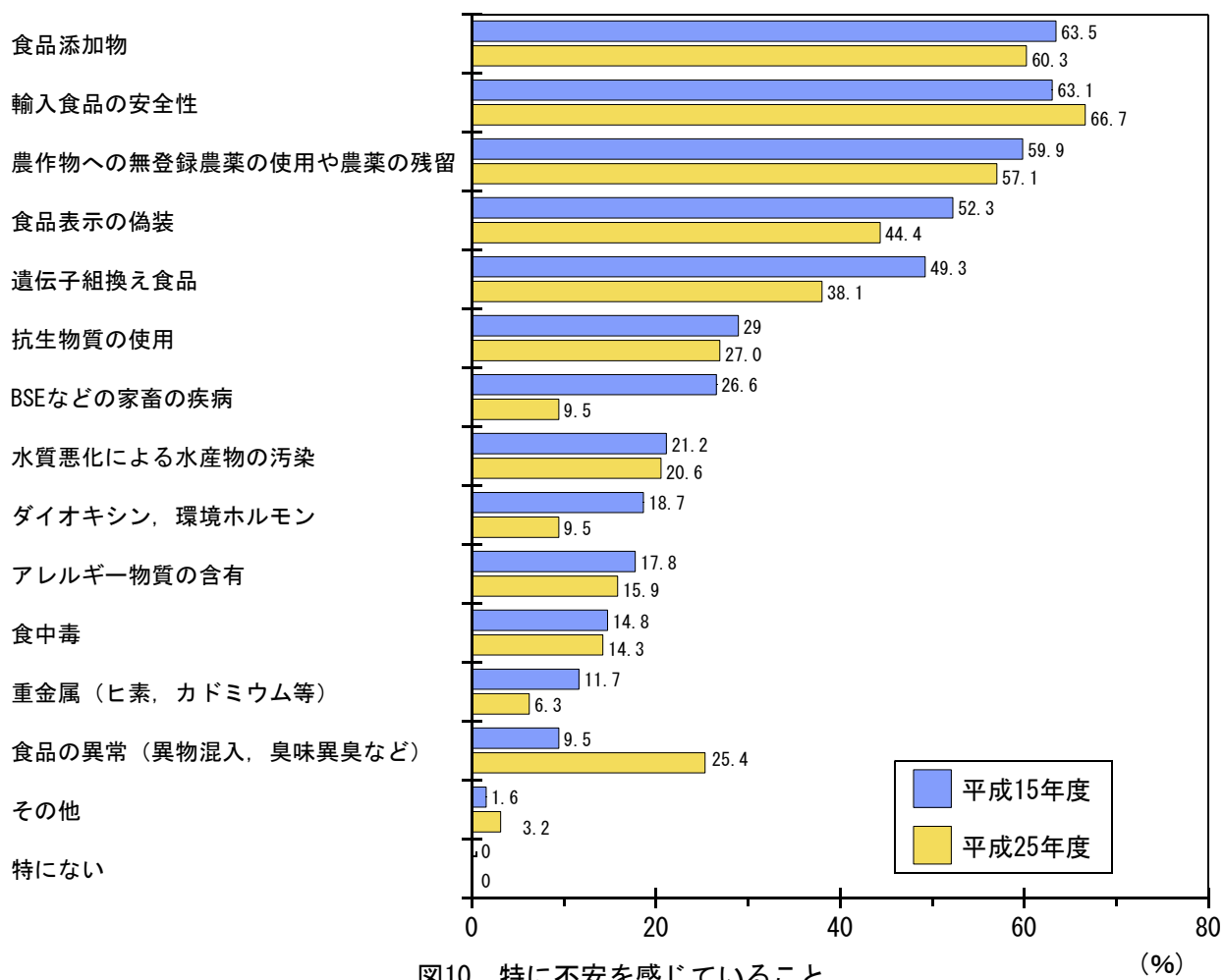


図10 特に不安を感じていること

年齢別では、有意な差は認められなかった。

参考グラフ

1. 食品購入時の行動

(2) 買い物についての考え方や行動

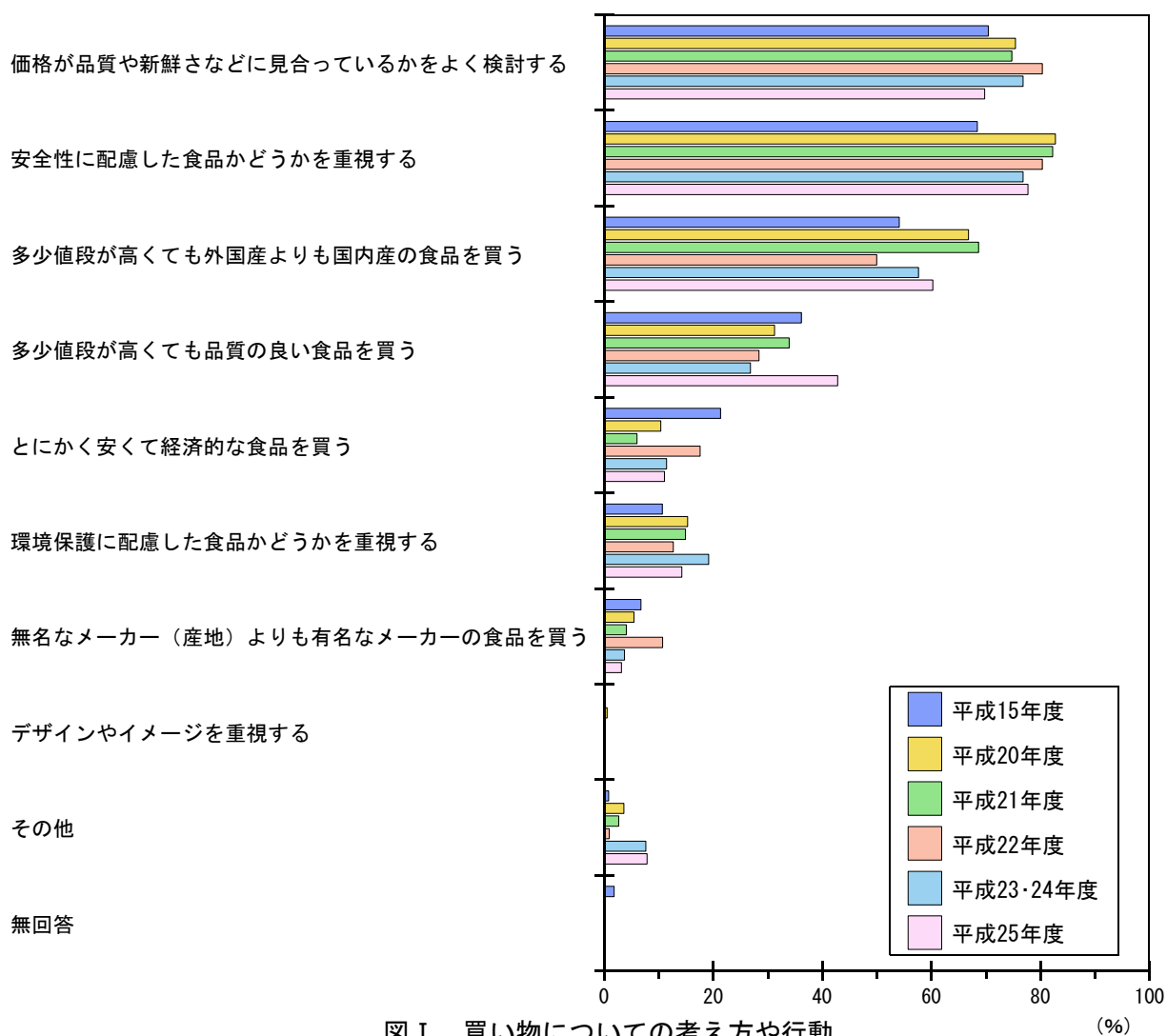
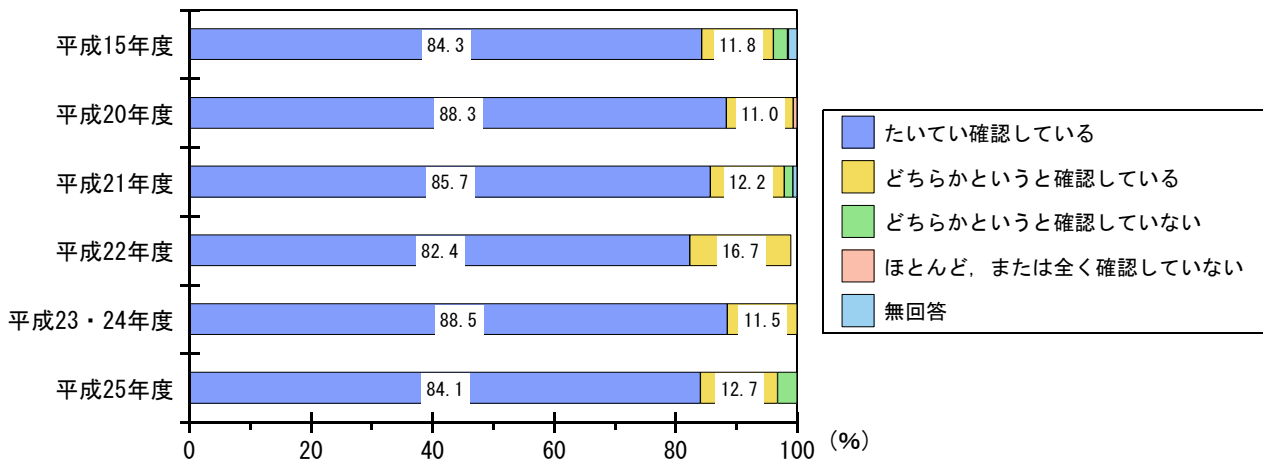


図 I 買い物についての考え方や行動

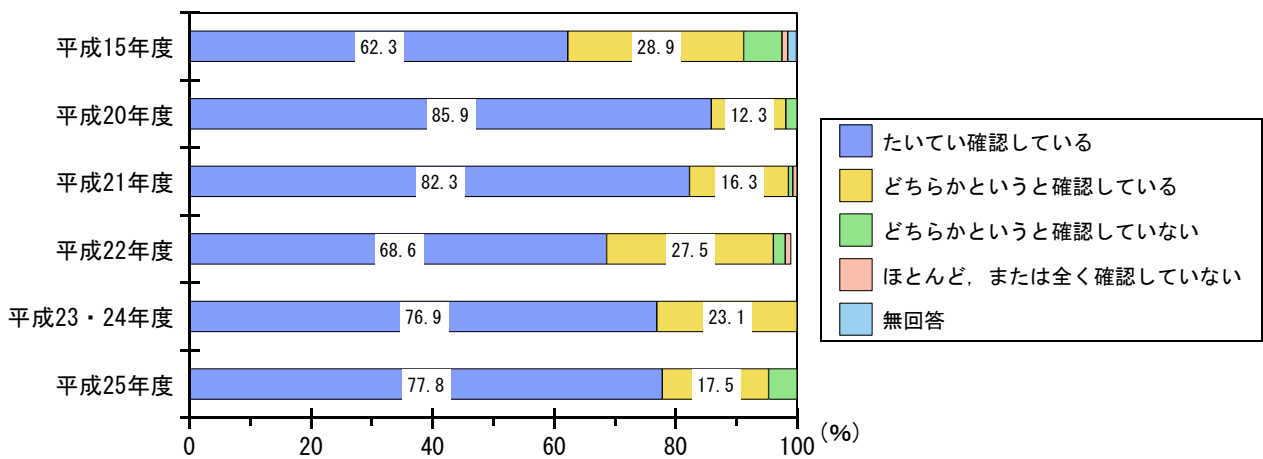
(%)

2. 表示の確認度と重視する点

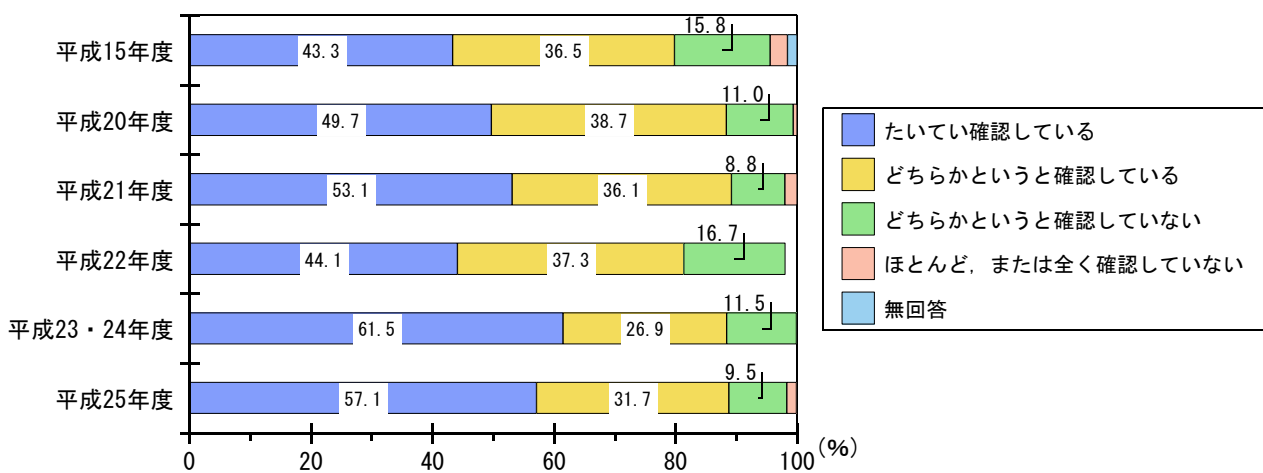
(1) 食品表示の確認頻度



図Ⅱ 消費期限, 賞味期限の日付

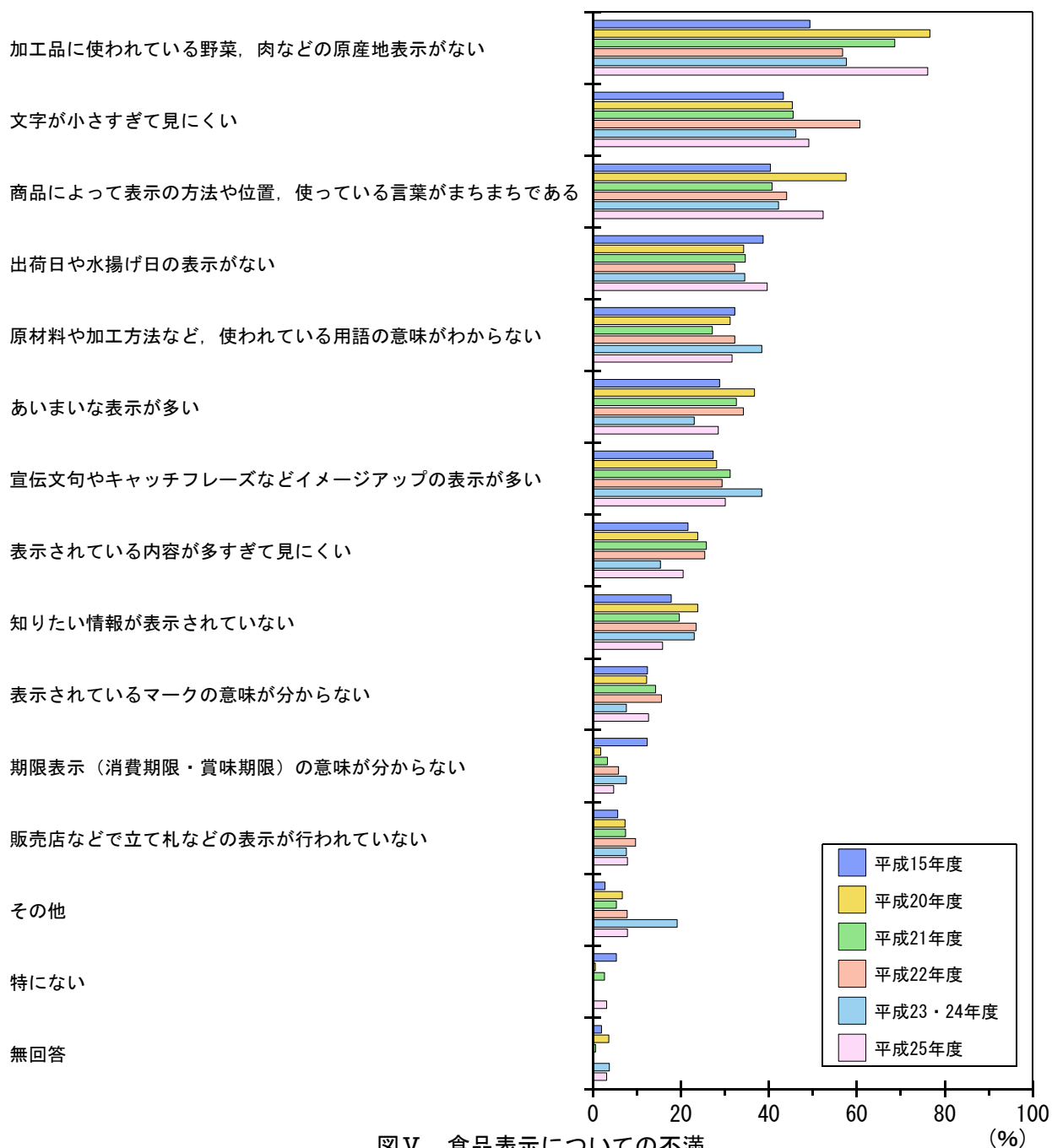


図Ⅲ 原産国・原産地や製造者の情報



図Ⅳ 原材料

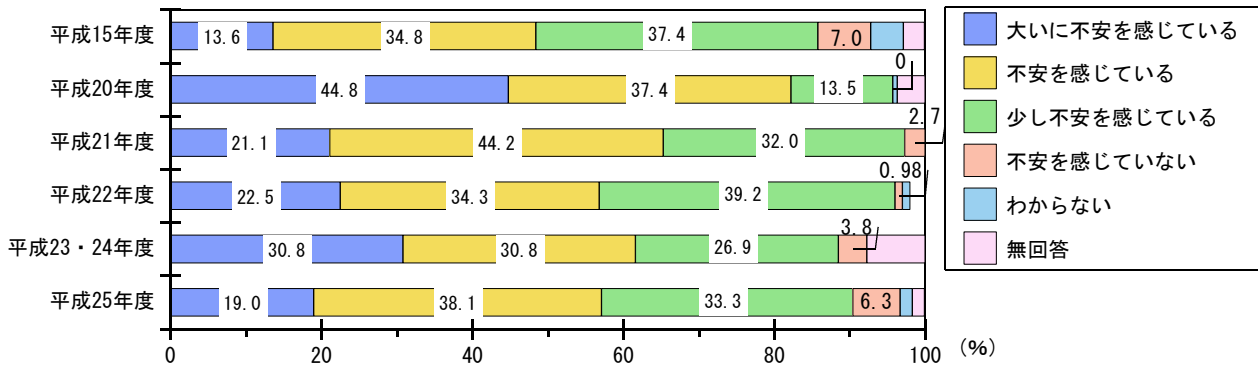
(2) 食品表示への不満



図V 食品表示についての不満

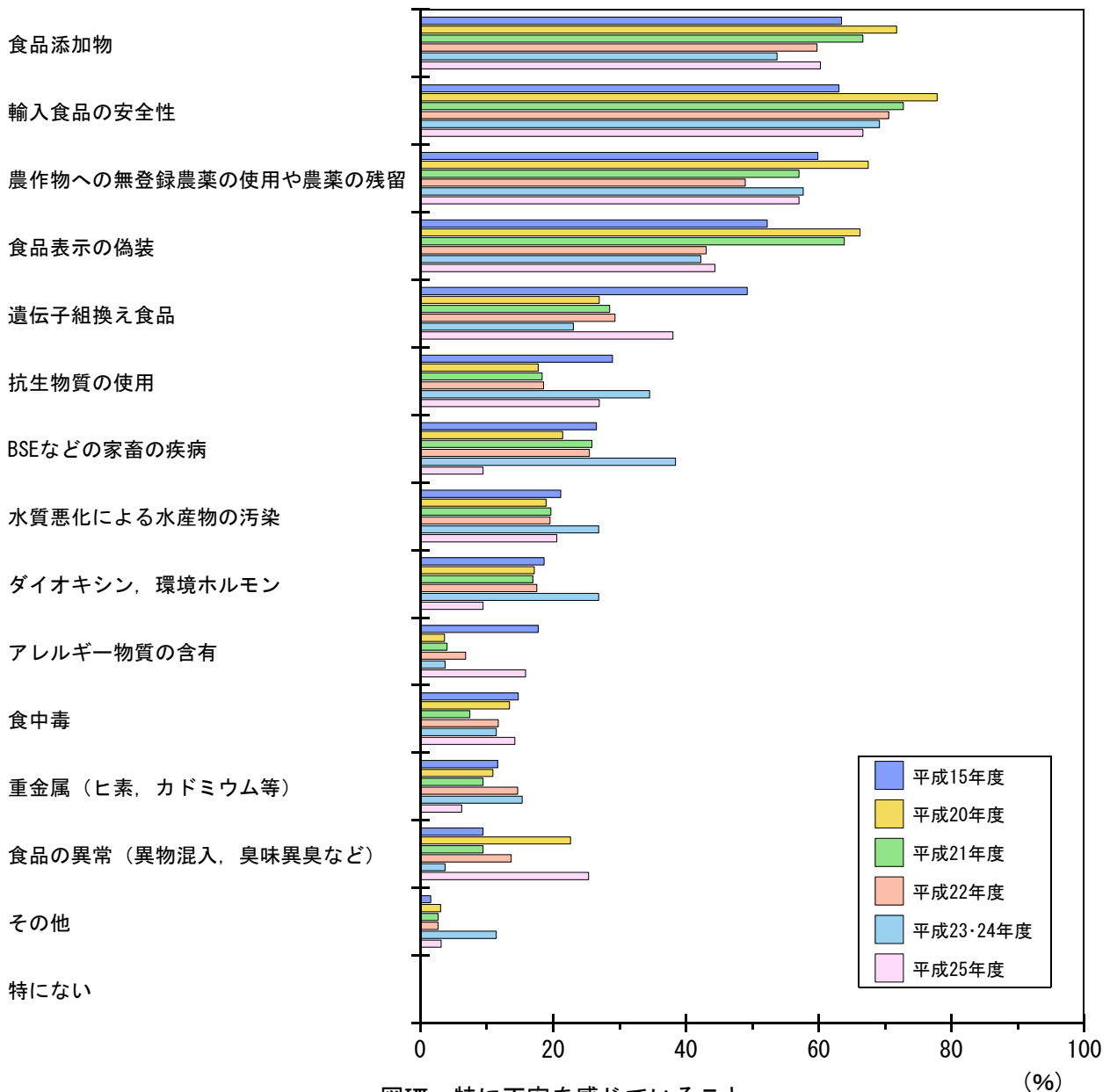
3. 食品の安全性について

(1) 食品の安全性に対する不安感



図VI 食品の安全性に対する不安

(2) 特に不安を感じる項目



図VII 特に不安を感じていること